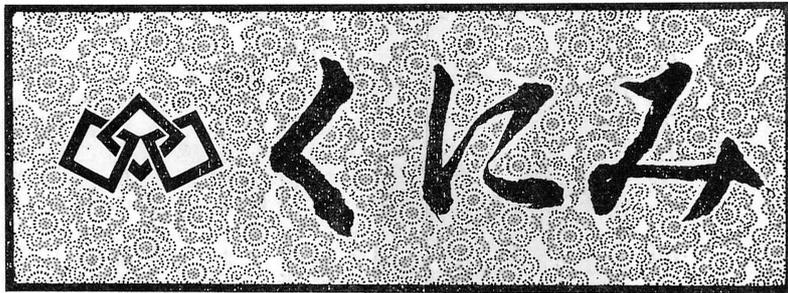


人口と世帯数
 男 5,810人
 女 6,125人
 計 11,935人
 世帯数 2,651世帯
 47.6.1 現在



No. 177

1972/6/15

編集 国見町公民館
発行

昭和47年度 体育協会事業決る

体力の推持増進にふるって参加しましょう

大会の部

| 行 事 名 | 期 日 | 会 場 | 備 考 |
|--|----------|------------|----------------------------|
| 早起き野球大会 | 6.25~7.2 | 県北中、小坂小 | |
| 夏季野球大会 (伊達地方選手権予選) | 8.20,27 | 県北中、小坂小 | 伊達地方選手権 9月17日梁川 |
| 町民家庭バレーボール大会 ソフトボール大会 (家バ、壮年ソフト具体予選) | 7月9日 | 県北中、藤田小 | 伊達地方予選 7月23日伊達 |
| 町民野球選手権大会 | 10月1日 | 県北中、小坂小 | |
| 町民バレーボール大会 ソフトボール大会 | 10月22日 | 藤田、小坂小、県北中 | 家庭、革、バレーボール 一般、壮年ソフトボール |
| 町民卓球大会 | 10月29日 | 藤田小 | A B級、壮年の部 |
| 伊達地方卓球選手権大会 | 11月12日 | 保原町 | |
| 親子剣道大会 | 11月 | 県北中 | 一般大会兼 |
| 国見桑折青少年健全育成剣道大会 | 2月 | 桑折町 | |
| スキーレクリエーション大会 | 2月 | 小坂スキー場 | |

講習会の部

| 行 事 名 | 期 日 | 会 場 | 備 考 |
|-----------|--------------|-------------|---------|
| 卓球教室 | 10.16~20 | 町民福祉センター | 婦人、壮年対象 |
| 〃 〃 | 2.19~23 | 〃 | 一般初心者 |
| バレーボール教室 | 6.26~28 | 県北中体育館 | 各地区指導者 |
| 〃 〃 | 10.12~14 | 〃 | 一般初心者 |
| 剣道道場 | 毎月毎週水曜 | 県北中講堂 | |
| 〃 寒げいこ | 1月3~6日 | 〃 | |
| 早起き歩け歩け大会 | 7.2・8.6・9.10 | 奥の細道厚樫道 | |
| 吾妻登山 | 6月25日 | 鳥子平…東吾妻…浄土平 | |
| 南蔵王 〃 | 8月27日 | 刈田岳…不忘山…硯石 | |
| 安達太良 〃 | 10月15日 | 野地…安達太良…岳 | |
| スキー映画の夕 | 11月19日 | 町民福祉センター | |
| スキー教室 | 1月7日 | 吾妻高湯 | |
| 〃 〃 | 1月28日 | 安達太良 | |
| 〃 〃 | 3月4日 | 天元台 | |
| 〃 〃 | 3月18日 | 山形蔵王 | |
| 庭球教室 | 9月25~27 | | |
| 柔道道場 | | | |



**体育協会に
加入しましょう**

体育協会には次の各部署があります。

野球部、卓球部、バレーボール部、剣道部、山岳スキー部

今年度から庭球部、柔道部、スポーツ少年団部を加え計八部となりました。

それぞれ希望の部に入り大いに活動してみませんか

加入には体協入会金一人一〇〇円、スポーツ障害保険料一〇〇円(六月末まで)の計二〇〇円で申し込みは体協事務局(公民館)まで

なお当町では体力づくりモデル町の指定を受け、上記体協の事業のほか種々の催しを計画しております。

くわしくは追って各戸一枚づつ行事予定表を配布いたしますからふるって参加してください。

郷土のほまれ

佐藤新七さん

勲六等单光旭日章受章

祝辞

このたび国家最高の榮譽である叙勲の栄を担われ、また佐藤新七さんの受章祝賀会を企画いたしましたところ、多数ご賛同ご参加いただき来賓各位のご臨席のもとに盛大に開催出来ましたことを深く感謝申し上げます。主催者を代表しお祝いの言葉を申し上げます。



数多い地方自治功労者の中から特に選ばれ、勲六等单光旭日章受章の榮譽に浴

福島県青少年研修 へどうぞ

福島県では、県内各地の青少年が一党に会し、団体生活をとおし社会連帯感の高揚をはかり、いよいよ社会人としてあすの福島県になうとともに、日本の中核となれる青少年としての人格と教養と使命感を養う一つの契機とするため今年

されましたことはまことに喜びにたえない次第であります。ここに国見町民の皆様とともに永年の功労をたたえ今回の榮譽を心からお祝い申し上げます。

この叙勲は佐藤新七さんが昭和十二年五月森江野村が議員に当選以来実に二十九年の長きにわたり、議員監査委員、農業委員として在職一貫して地方自治の育成発展のために献身された功に対し賜ったものであります。

佐藤新七さんは常に郷土の発展と地域住民の福祉増進のために尽力されてこられました。特に戦後の世相の混乱した時代に民生の安定に尽くされ戦争で荒廃した村を復興させるため、度も次の日程で開催されます。参加希望者はお早めに公民館又は役場住民課に申し込んでください。

- 7・12 7・15
 - 7・25 7・28
 - 8・5 8・8
 - 8・29 9・1
 - 9・26 9・29
 - 11・8 11・11
 - 11・28 12・1
- 参加資格 国立磐梯青年の家

徳江地内の桑園地帯の耕地整理を施行、養蚕農家の基盤確立に寄与し、昭和二十九年には時代の要請により全国的に町村規模の再編成が行われ藤田町外四ヶ村が合併し、国見町が誕生しました。この合併に際しては幾多の困難な問題がありましたがこれを解決みごとに合併を実現し合併後の新町建設につきましても数多くの公職につき、町政の中心たる議会においては議員会長として内部のまとめと民主議会の確立につとめるかたわら執行部と協調し町政建設計画に盛り込まれた中心的事業の遂行に協力国見町発展の基礎確立に努められたものであります。

地域納税貯蓄組合長として完納意識の高揚につとめ昭和三十七年から国見町納税貯蓄組合連合会長となり翌三十八年度より町民税勤労青少年

(イ) 勤労青少年
(ロ) 二十歳までの者
(ハ) この研修に参加したことのない者
この研修は県において負担(宿泊無料)

連続百パーセント完納の実績を挙げ、県並びに町財政に大なる貢献をされたものであります。

公立藤田病院組合議員、伊達地方衛生処理組合議員として公的医療施設の充実により、住民の保健と環境衛生の向上につとめ、農業委員としては終戦前後の農地調整、農業の合理化近代化を推進、教育関係としては六、三制実施により新制中学校発足当時組合立中学校の設立に参画し、中学校組合議員となり設立当初の施設整備、通学道路の整備に尽力教育効果の増大に寄与されました。

交通安全対策については町交対協の委員であり安全協会森江野部会長をつとめ昭和三十七年から桑折支部副支部長に就任、児童生徒の通学路の安全対策道路環境の整備充実を図る等現に障のあるおとしよりに対し

老人家庭奉仕員を派遣し、日常生活の世話を行ない、おとしよりの方が健全で安らかな生活を送って頂くことを目的に昨年十月より

以上のような長い間の功勞に対し、国家最高の恩命である叙勲のご沙汰があり勲六等单光旭日章受章の榮譽に輝いたのであります。このことはご本人はもとよりご一家ご一門の名誉であると同時に町の名誉であると同時にこの事業を実施してまいりましたが、本年三月老人家

お悔み申し上げます
(五月中に亡くなられた方 敬称略す)

老人家庭奉仕事業は、身体上又は精神上的の障害があつて日常生活を営むのに支



りまして此の上もない喜びでございます。心からお祝いを申し上げる次第であります。

この榮譽の蔭にはご夫人はるの様の献身的な内助とご家族皆さんの協力が高く評価されなければならぬと思います。改めて心から深く敬意を表する次第であります。

佐藤さんは主要公職は後進に途を譲り政治の中心から遠ざかったとは云いながらも豊かな経験を生かし、今後ともご自愛なさいまして地方自治の振興と地域発展のためにご協力をお願いいたします。

おわりにご健康とご幸福をお祈りしてお祝の言葉といたします。

昭和四十七年 五月三十一日 国見町長 関口道孝

| 死亡日 | 氏名 | 年齢 | 住所 |
|-----|-------|----|----------|
| 5・5 | 松浦 弥市 | 86 | 石母田中ノ内9 |
| 10 | 斎藤 政治 | 76 | 藤田 町裏8 |
| 17 | 阿部勝治郎 | 53 | 貝田 畑中19 |
| 17 | 後藤 繁寿 | 21 | 塚野目羽根通十一 |
| 21 | 八島林次郎 | 88 | 山崎 小林8 |
| 23 | 松浦 ミヨ | 52 | 光明寺油内8の6 |
| 27 | 小林 泰助 | 79 | 西大枝牛沢4 |

庭奉仕員、中村さんが家事の都合により辞職いたしましたので、その後任として大宇藤田古鹿島19の1

国見町の文化財

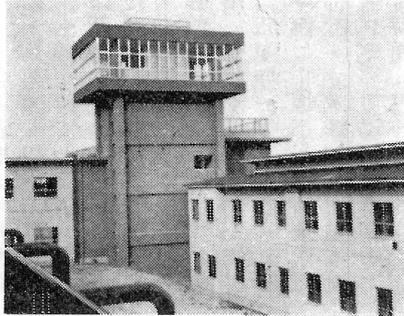
第一集刊行

国見町では郷土史編さんの資料収集のため、遺跡の発掘調査を行なっているが、これを実施した場合、必ず調査報告書をつくって、文化庁をはじめ関係方面に届け且つ学界に発表しなければならぬことになって

小学校視察記(1)

弥彦町小学校三
分校一を統合

△ 六月二日晴 新潟県弥彦町がこの新学期から町の中心部に統合新校舎を完成授業を初めている状況、経過、問題等を視察のため、忙しい町長さん、議長さん、国見町PTA連協会長の安彦勇吉さん小中学校長五名、議会文教委員四名、教育委員五名計十七名が、藤田駅前前七時半の汽車に乗った。衣替えの女子学生が目につく。急行鈍行と乗りついで午後三時半目的地の弥彦町についた。新潟市から西、越後線で一時間余の町である。駅から歩いて十分程の台地の新校舎について



教育長、学校長に迎えられ小会議室に案内された。△ 教育長、学校長説明の要概

今の弥彦町は合併町村で、人口七、三〇〇人面積二八平方千四十七年度町予算七億五千万円旧校の児童数弥彦二四四人

尚残りの部分についても第二、第三集を刊行する予定である。昭和四十七年度日赤社費増強運動実績報告について

五月一日より三十日まで一月間この運動を展開してまいりましたが、町民の皆さんの暖いご協力を得まして、所期の目的を達成しましたことに対し、深く感謝申し上げます。その実績(結果)を下期のとりこ報告いたします。

赤十字は人道のかけ橋



一、実績額 二五八、四〇〇円

一、目標額 一、目録額 麓一九三人、矢作二一八八人新校舎施設予算三億二千万円、校舎面積六、四一七㎡敷地三三、〇〇〇㎡(約一万坪)此の買入代金五、三〇〇万円運動場整備費金七千万円今ブルトーザが入っていた大きな玉石を入れ暗渠排水溝が何本かつくられていた運動場の排水をよくするためのだ。生徒の半数が食事出来る食堂、校舎の中央に一段高い管理塔、この塔は学校管理は勿論、児童が弥彦町を展望することによって自分の町に愛情と自尊心を育てるのにも役立つと云っていた。私共もその管理塔に昇って見たが均等に基盤整備された、はるかな



一、募集範囲 国見町全域(育所宛)にお届け下さい。一、募集人員 各隊若干名(人員の制限あり)一、期 間 六月中へご連絡願います。(早めに申込み下さい)一、資格、年齢 年少隊 小学二年より四年まで 国見町ボーイスカウト 育成会

発団五周年

ボーイスカウト 年少隊 小学五年より中学生まで 少年隊 高校生 十八才まで

| 誕生日 | 氏名 | 親名と続柄 | 住所 |
|-----|--------|-------|-----------|
| 28 | 加藤 明美 | 新市の2女 | 山崎 北古館8 |
| 23 | 蓬田 知展 | 俊一の長男 | 藤田町裏8の2 |
| 15 | 佐藤 伸樹 | 幸助の長女 | 西大枝霞沢5 |
| 15 | 一条 裕子 | 幸助の長女 | 小坂 小坂51 |
| 13 | 松浦 勇治 | 悦治の3男 | 大木戸高橋一 |
| 10 | 渡部 久美子 | 武男の長女 | 高城 前8 |
| 9 | 長谷川 泰代 | 勝助の長女 | 高城 広地38 |
| 9 | 高橋 哲也 | 正吉の2男 | 貝田 町後8 |
| 7 | 鴨田 由香 | 清一の2女 | 内谷 西31 |
| 4 | 鴨田 明宏 | 文男の長男 | 小坂 小坂17 |
| 4 | 矢部 智子 | 安男の2女 | 山崎 北古館18 |
| 2 | 菅野 絵美子 | 栄光の2女 | 内谷 大橋12 |
| 30 | 瀬戸 一雄 | 健児の長男 | 藤田 宮前1 |
| 28 | 伊藤 裕 | 正義の二男 | 山崎 滝山16の2 |
| 28 | 関根 英樹 | 一郎の長男 | 高城 家老1 |
| 25 | 遠藤 早苗 | 次夫の長女 | 藤田日渡三9の4 |
| 24 | 鈴木 義信 | 輝夫の長男 | 藤田 堤下16 |
| 23 | 佐藤 岳 | 久雄の2男 | 高城 石田51 |
| 22 | 吉田 昌弘 | 勉の長男 | 山崎 北古館8 |
| 4 | 吉田 昌弘 | 勉の長男 | 山崎 北古館8 |

一、目標超過額 五一〇円 日赤国見町分区長 一〇〇、二% 一、目標達成率 国見町長 関口道孝

おめでとうございませう

(五月中出生届をされた方 敬称略す)

郷研だより

①年間行事予定ま

国見町郷土史研究会(会長早田盛さん)では、去る五月三十一日役員会を開き年間行事予定表などをつくり、いよいよ新年度の活動にとりかかった。

○四月 役員会

○五月 総会、役員会

○六月 塚野目古墳発掘調査に協力・民俗資料調査研究に着手

○七月 会津の文化財めぐり・古民家移築工事開始につき協力

○八月 森山古墳発掘調査協力・現地説明会を兼ねて古墳について講習会

○九月 指定文化財標識建立に協力・石造文化財についての講演と拓本のとり方研究

○十月 徳江廃寺跡調査協力・信夫の文化財めぐり(一日コース)

○十一月 文化祭につき展示会・山居遺跡調査に協力・糸里遺構調査開始につき協力

○十二月 郷土の文献と古文書の解読研究

○一月 古文書の解読講習

○二月 会報発行

○三月 総会

②会津の文化財

めぐりへどうぞ

歴史のふるさと文化財の宝庫といわれる会津を訪ね、文化財を研究しようと、七月の六・七、一泊二日の旅行をする。コースは次のとおり豪華版。(一)内は見学箇所

藤田車庫―土湯峠―猪苗代(会津民俗館・野口記念館)―会津若松(滝沢本陣跡・御薬園)―松平氏庭園(御土博物館)―田島(奥会津歴史資料館)―旧南会津郡役所)―下郷(塔のへつり)

・大内部落―芦の牧(国民宿舎)―あいつ(庄泊り)―高田(伊佐須美神社)―新鶴(弘安寺)―中田観音・田子薬師)―坂下(心清水八幡神社)―立木観音・旧五十嵐家住宅)―湯川(勝常寺)―磐梯(恵日寺跡)―国見

③良書あつせん

〃図説福島県史〃

福島県史二十六巻から抜すいて三七〇ページの本にしたもの、この一冊あれば原始古代から近、現代にいたる福島県の姿がわかる。一枚におよぶ写真や図版は、おとしよりや子どもにもよくわかる。一家一冊必備の良書、本会ではいま、全役員を動員して予約を募集している(一冊一九〇〇円、現物引換のこと)



明治学級だより

◎老人は健康であれ
◎健康管理について勉強

明治学級では五月二十五日午後一時から、町民福祉センターで学習会を開き丈夫で長生きするための健康管理その他のいろいろの勉強をした

△体験発表

熊田一怡、松浦金助、吉田民蔵、高橋勇記、瀬戸八

郎の五氏から貴重な体験の発表があり、その内容と態度の立派なことに感心した。これまで学習といえただ先生の話を聞くだけのことが多かつたが、これからは自分達の発表も大いに取入れる必要があると思われる

▽講義

藤田総合病院 長本宿尚先生から一時間にわたる、老人の健康上きわめて大切なことがら例えば老人はいつもの体のすみずみまで清潔にすること、排便に気を付けること、太り過ぎを警戒することなど、一つ一つわかりやすくお話された。

▽佐藤さんおめでと

このたびの春の生存者叙勲にあたり、自治功労者として勲六等旭日単光章をいただいた同級生佐藤新七さんに対し、学級生一同を代表して熊田一怡委員長から祝詞を呈し、みんな声をそろえて「おめでとござい

◎次回の相談

次回は六月三十日「愛される老人になろう」をテーマに学習する。講師は石井裕澄先生(伊達町箱崎)立福島中央高校教諭)発表は一人五分以内、先着十人だけとする。内容はテーマ(愛される老人になろう)に関する。

(一)わたしの体験 (二)わたしはこう思う (三)わたしの願い (四)わたしの提言 (五)わたしの具体的、自分のことばで話すこと。

ます。」と述べた。

▽修学旅行の報告
五月七、八日に行なわれ 三氏から状況報告並びに感想の発表があつた。

あつかし俳句会(五月二十日)

兼題 「粽」 「柿若葉」 席題 「ホトトギス」

柿若葉幹につるした野良弁当 早田 灰鳥
野辺の花にたむけて過ぎぬ柿若葉 奥山 甲二
特急の窓に捉えし柿若葉 斎藤黄鶴楼
取り合はしはらから遠き粽かな 一 陽
紺碧の気仙の旅や柿若葉 たか子
柿若葉歩む寂しさ妻知らず 勝 エ
粽食う未婚の男のどほとけ 正 雄
病床をはい出て見上ぐ柿若葉 痴 仏
裏に見た寐かせて農婦柿若葉 雨 田
柿若葉平屋校舎の午後の庭 正 一
柿若葉丘の新居の風甘し 葛 水
塾の子のはじくそろばん柿若葉 山 月
裡庫の窓あけ放ちたり柿若葉 泰山 水
ほととぎす老婆故郷をよく語る 夢 山
開け放しの古き家あり柿若葉 吐 絹
こわ高に語らう農良や柿若葉 貞 治
柿若葉まだ我が足のふらつきし 祥 子
あつかしをバツクに濡るる柿若葉 祥 子
水がめをふせてありけり柿若葉 貞 子
親の背にたわむる仔山羊柿若葉 かね子
大振の粽に似たる若き肩 えい
雀来てまた雀来る柿若葉 秋 子
粽食ふめつきり角のとれし母 栄 子